

## 「家庭生活と家族」の授業展開例 ーガイダンス的内容「自分の成長と家族」に関する学習ー

- 1 題材名「家族にありがとう、生活の中で自分にできることを増やそう！」
- 2 題材について
  - 本題材では、自分の成長と家族について関心を持ち、自分の成長と家族のかかわりについて関心をもつとともに、家庭生活と家族の大切に思う気持ちを育むことをねらいとしている。
  - ここでは、家庭科学習のガイダンスを行う。ガイダンスは新学習指導要領において新設された内容である。
  - 第4学年までの学習を踏まえ、家庭生活や学校生活を振り返ることを通して、**これまでの自分の成長に気付く**とともに、2学年間の家庭科学習の見通しをもつことができるようにする。そのため、第5学年の最初に学ぶ内容とされている。
  - この内容は、A～Dの内容と関連させて学習することで、**学習を通して成長した自分を自覚する**など、2学年間の学習全体を貫く視点とする。
  - 第5学年の最初の授業では、自分の成長とそれを支えてくれている家族の大切さに気付くことができるように、生活するために必要なことを考え、小学校に入学してからできるようになったこと、家族にやってもらっていることを知る。
  - 自分の家庭生活や学校生活が円滑に営まれているのは、家族が支えてくれていることに気付き、家族に協力して生活を営むことができるようにする。
  - さらに、この内容を学期や学年の終わりに実施することで、自分の成長を自覚できるとともに、**自信をもって学習で身に付けたことを家庭で実践できるようにする**。
- 3 題材の目標  
衣食住などの学習を通して成長する自分を喜び、自覚するとともに家庭生活への関心を高め、衣食住などの営みを大切にする態度が育まれるようにする。
- 4 題材の指導計画（総時数6時間）
  - ・ 第5学年最初のガイダンス ----- 2時間
  - ・ 第5学年のまとめ ----- 1時間
  - ・ 各学期のまとめ（第5学年の1,2学期と第6学年の1,2学期） --- 2時間  
(0.5時間×4)
  - ・ 第6学年のまとめ ----- 1時間

	学 習 活 動	指導の手立て・児童の反応
第5学年最初のガイダンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ これまでの自分の生活を振り返り家族に支えられていたことを知る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生活に必要なこと</li> <li>・ 小学校の第4学年までに「出来るようになったこと」と「家族にやってもらっていること」の分類</li> </ul> </li> <li>○ これから家庭科において2年間で学習することを知る。</li> <li>○ 自分が家庭科を通して成長することを想像する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 家庭の仕事を書き出し、発表させたりアルバムを見せる。  <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 出来るようになったことも多いけれど家族にやってもらっていることが多い。 </div> </li> <li>○ 家庭科の4つの学習内容を確認させる。  <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 家庭科の授業が楽しみだ。 </div> </li> </ul>
第5学年のまとめ 各学期のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習を振り返り、できるようになったことや家庭生活などに生かす方法を考える。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家庭科の学習で、できるようになったこと、家庭生活上で生かしていきたいこと</li> <li>・ 成長した自分を喜び、実感する。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習を振り返り、できるようになったことや、学習したことを家庭生活上で実践していることを発表させる。  <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> ごはんのみそ汁が作れるようになった。  手縫いやミシン縫いができるようになった。  買い物をするとき大事なことがわかった。など </div> </li> </ul>
第6学年のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 2年間の家庭科の学習を振り返りできるようになったこと、生活で実践していることをまとめる。</li> <li>○ 中学校で学習することを知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ワークシートや作品等を活用して2年間の家庭科の学習を振り返らせる。  <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 家庭生活上でできることが増えてうれしい。家族に喜んでもらった。  中学校で学習することが楽しみだ。 </div> </li> </ul>

## 5 展開例（本時1・2／6時間）

(1) 小題材「第5学年最初のガイダンス」

(2) 本時の目標

2年間の家庭科の学習内容を知り、これからの学習への意欲や関心を高める。

(3) 準備するもの

小学校に入学したときの写真、家庭科の2年間の年間指導計画、ワークシート  
先輩の昨年度の作品・実習のときの写真

(4) 本時の展開 (2時間)

学 習 活 動	時間 (分)	指導上の留意点
1 小学校に入学したときの写真を見る。 ・ 1年生の自分と5年生の自分を見比べる。	10	○ 入学したときの気持ちや入学したときの家庭での様子などについて思い出させ、不安だったことや生活に戸惑ったことを思い出させる。
2 小学校に入学してから学校や家庭で「できるようになったこと」「家族にやってもらっていること」をまとめる。 (ワークシートと付箋に記入)	15	○ 入学してからの4年間でできるようになったこと、5年生になっても家族に頼っていることがあることに気付かせる。
3 まとめたことを発表させる。 例 「できるようになったこと」 ・ 朝、一人で起きられる。 ・ 衣服の着脱ができる。など 例 「家族にやってもらっていること」 ・ 食事づくり ・ 買い物、洗濯など	20	○ 「できるようになったこと」「家族にやってもらっていること」を色の異なる付箋に記入し、黒板に貼っていくことで、クラスの傾向を知らせる。 ○ 内容や数の比較をして、成長している自分がいることと、生活は家族に支えられていることに気付かせる。
4 家庭生活において、これから自分でできるようになりたいことを考える。 例 「できるようになりたいこと」 ・ 簡単な料理 ・ ミシンを使った物作り ・ 体育服の洗濯など	25	○ これから学習する家庭科の学習で、身に付けられることを中心に、小学生として一人でもできるようになりたいことや、家族の一員として役立ちたいと思うことを考えさせる。 ○ 「できるようになりたいこと」の理由を発表させ、自分の成長とともに家族を思いやり、家庭生活を大切に思う心情を育ませる。
5 2年間で、家庭科において学習する内容を知る。 ・ 2年間の家庭科の年間指導計画を見る。 ・ 家庭科の4つの学習内容を知る。 「A家族と家庭生活」 「B日常の食事と調理の基礎」 「C快適な衣服と住まい」 「D身近な消費生活と環境」 ・ 6年生の昨年度の作品・実習のときの写真を見る。	20	○ 2年間の学習を見通しをもって学習することができるように年間指導計画を確認するとともに4つの学習内容(A～D)を記入させる。 ○ 「できるようになりたいこと」はこれから学習する家庭科の4つの学習内容に当てはまることに気付かせる。  ○ 実物や実際の様子を見ることで学習への意欲・関心を抱かせる。

【参考文献】 文部科学省『小学校学習指導要領解説家庭編』平成20年  
 内野紀子他編著『小学校新学習指導要領の展開』2009 明治図書